部課名	都市づくり部　都市政策課
課の使命	市内、市外を問わず、「住みたい」「訪れたい」「活動したい」まちとして選ばれ続けるため、計画的なまちづくりの誘導を図ります。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	－	事前都市復興の体制構築	事前都市復興の重要性について啓発する活動を継続的に実施し、市民及び行政の災害対応力を高めます。	①地区毎の復興まちづくり活動への支援 ②職員向け訓練	①実施 ②実施								
2	－	魅力ある質の高いまちを目指した土地利用制度の活用	「新たな学校づくり」の実現に向けて、庁内及び関係機関との協議・調整を行い、都市計画変更素案を作成します。	都市計画変更素案の作成	完了								
3	－	集約型の都市構造への再編に向けた検討	都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」の策定について都市計画審議会に諮問し、「拠点」や「都市骨格軸」への具体的な誘導方針や効果的な誘導策の骨子を中間まとめとして整理します。	中間まとめ	完了								
4	事務事業見直し	予算（消耗品費）の一元管理	部内各課に共通する消耗品について、費用の縮減と手続の効率化を目指し、予算及び管理を部総務担当課へ集約します。	2025年度予算編成における消耗品費の一元化	完了								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	－	職員のスキルアップとオンライン会議の推進	【部内合同研修会】 ・研修会参加など、基礎的知識及び専門的知識の向上を図ることで、円滑な業務遂行と業務の効率化を行うことを目指します。 ・研修会は、各課持ち回りで研修内容を決定して実施します。 ・部内の災害対応体制の強化に向けて、防災関連研修会を実施します。 ・Microsoft Teamsを使用したオンライン会議の開催方法についての研修を行います。	部内合同研修会の実施回数	年3回								

部課名	都市づくり部モノレールまちづくり推進室
課の使命	・多摩都市モノレールの多摩センター駅から町田駅までの延伸事業を推進します。 ・多摩都市モノレールを契機として、木曽山崎団地エリアなどのモノレール沿線のまちづくりを推進します。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	モノレール沿線まちづくりの推進	モノレール沿線まちづくり構想における取組について庁内関係部署との調整や東京都との協議・多摩市との連絡調整を行いながら実施します。	取組実施	実施								
2	重点事業プラン	木曽山崎団地エリアのまちづくりの推進	「町田市都市づくりのマスタープラン」に掲げる「住宅地を多機能化する」ことを目指して、UR都市機構や東京都住宅供給公社など関係機関との協議を進めるとともに、有識者や地元自治会、管理組合等の代表などで構成する（仮称）まちづくり検討会・ワークショップを実施し、課題の整理とまちづくりの方向性について検討します。	課題整理とまちづくりの方向性の取りまとめの実施	取りまとめ完了								
3	事務事業見直し	先行取得した事業用地の貸付	モノレールの導入空間となりうる都市計画道路等の事業用地として先行取得した土地の貸付を行います。	貸付実施	貸付開始								

部課名	都市づくり部都市政策課中心市街地開発推進室
課の使命	・町田駅周辺の開発を推進することで、官民が一体となって便利で快適・居心地のよい駅前空間を創出するとともに、これまで培ってきた町田らしい商業の賑わいに”誰かと一緒に楽しむ・体験する”といった新しい賑わいを加え、賑わいと交流が生まれ続けるまちの実現を目指します。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	町田駅周辺開発の推進	①開発の機運が高まっている4地区（ABCD地区）の開発推進を実現させるため、市民意見募集を踏まえ、「（仮称）町田駅周辺開発推進計画」を策定します。 ②森野住宅周辺地区（D地区）においては、市が主催するまちづくり勉強会を、地権者が主体の地権者協議会に移行します。 ③町田駅周辺の各地区（ABCD地区）において、地権者等との協議を進めるとともに関係機関協議を実施します。	①（仮称）町田駅周辺開発推進計画の策定 ②協議会への移行 ③地権者等・関係機関協議の実施	①完了 ②移行 ③実施								

部課名	都市づくり部土地利用調整課
課の使命	・都市計画決定などの土地利用に関する情報を的確に提供します。 ・良好な宅地と住まいづくりを誘導します。 ・宅地開発及び建築行為事業において近隣との良好な関係を保つように対応します。 ・オンラインによる手続を可能とし行政サービスの高度化・簡素化・効率化を図ります。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	「ゼロカーボンシティまちだ」に向けた取組	①都市農地の持続可能な保全・活用をするために、様々な主体と連携した「まちだベジハブ」の取組を拡充し、担い手創出の支援を行います。 ②「下小山田・図師町農の風景育成地区」の育成計画に基づき、市民・農業者・地域の関係者が連携・協力して実施する取組への支援を行います。	①「まちだベジハブ」の取組に参加した担い手数 ②「農の風景育成地区」で実施される取組への支援回数	①85人（団体） ②5回								
2	－	分かりやすい住所整理の推進	①南大谷及び東玉川学園三・四丁目地区住所整理実施に向けて、新しい町名、町区域の告示を行い、2024年7月に住所整理を実施します。 ②次期住所整理の実施に向けて、地区の選定を行います。	①新しい町名、町区域の告示及び住所整理の実施 ②次期住所整理実施地区の選定	①完了 ②完了								
3	事務事業見直し	各種申請手続のオンライン化の推進	オンライン行政手続システム「Graffer」を利用し、サービスの拡充に向けて追加項目の内容精査・検証を行い、申請可能な業務項目数を増やします。	新たにオンライン化した行政手続の業務項目数	4項目								
4	事務事業見直し	共通地形図の更新頻度の見直し	共通地形図の更新頻度を、3年に1回から5年に1回に変更することにより、経費を削減します。	当該年度の共通地形図変更箇所データの収集及び確認	完了								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	－	地理情報システムの利用推進	①職員向けの操作研修会を実施し、地理情報システムの利用推進を図ります。 ②都市計画情報等に関する問合せ対応の効率化を図るため、「地図情報まちだ」を多くの市民や事業者の方に利用していただくための周知活動を実施します。	①地理情報システム研修会の受講者数 ②「地図情報まちだ」の周知活動回数	①100人 ②2回								
6	事務事業見直し	予算（消耗品費）の一元管理	部内各課に共通する消耗品について、費用の縮減と手続の効率化を目指し、予算及び管理を部総務担当課へ集約します。	2025年度予算編成における消耗品費の一元化	完了								

部課名	都市づくり部交通事業推進課
課の使命	日常的な移動を多様な担い手・手段で支え、移動しやすい持続可能な交通環境をつくること

実行計画(年度目標)

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	地域の移動を支える取組への支援	地域の支え合い交通や新たな交通の実用化に関する取組に対して、交通関係者との調整や道路運送法等交通法規に関する技術的支援を行うとともに、活動を実施継続していくために必要な財政的支援を行います。	移動を支える取組件数	11件 (新規1件、継続10件)								
2	重点事業プラン	小田急多摩線の延伸検討	延伸の実現に向けた収支採算性等の検討を相模原市と実施します。	収支採算性等の検討	検討実施								
3	個別計画	地域公共交通計画の策定	(仮称)町田市地域公共交通計画の策定に必要な市内公共交通の現状把握や市民アンケート等の基礎調査や、計画検討のための体制づくりを行います。	基礎調査	完了								
4	個別計画	シェアサイクルの推進	・シェアサイクル事業者と協働し、利用啓発や利用実績の分析に基づくサイクルポート増設の検討等を行うことで、利用回数の増加に向けた取り組みを実施します。 ・シェアサイクル共同運営事業の事業評価を行い、今後の事業推進の方向性について検討を実施します。	シェアサイクル利用(※)による温室効果ガスの年間削減量 ※シェアサイクル利用者の移動が全て自家用車だった場合との比較	73,920kg-CO2								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	重点事業プラン	バス待ち環境の改善	交通事業者等と連携し、バス停留所への上屋・ベンチの設置及び交差点や横断歩道至近にある危険なバス停留所の改善に向けた取り組みを進めます。	バス待ち環境改善箇所数	新規3箇所								
6	事務事業見直し	職員の人材育成	庁内外で行われる研修への参加やWeb配信の活用により、幅広い知識の習得と業務効率化を目指します。	研修等への参加数	年55回								
7	事務事業見直し	動産の売り払い	町田市民バス運行事業で使用するバス車両について、使用年数の経過による老朽化に伴う車両更新のため、2010年に購入した車両の売却を行います。	売却台数	1台								
8	事務事業見直し	予算(消耗品費)の一元管理	部内各課に共通する消耗品について、費用の縮減と手続の効率化を目指し、予算及び管理を部総務担当課へ集約します。	2025年度予算編成における消耗品費の一元化	完了								

部課名	都市づくり部地区街づくり課
課の使命	・「訪れたい」と思われる駅周辺の街づくりに取り組みます。 ・「住みたい・住み続けたいまち」の実現を目指し、市民、事業者等と協働で、魅力と豊かさを感じられる景観まちづくりを推進します。 ・土地区画整理事業等の制度を活用し、計画的な街づくりを推進します。

実行計画(年度目標)

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	鶴川駅南口街づくりの推進	仮換地指定を進め、物件移転及び整備工事を計画的に行います。 ※仮換地指定とは、土地区画整理事業を行う際に、道路等公共施設の工事を行い、土地の区画を変更するため、従前の宅地(現在の土地)に代えて、将来新たに使用することのできる土地を指定することを言います。	仮換地指定率	33%								
2	重点事業プラン	相原駅周辺街づくりの推進	東口駅前交通広場に接する地権者や関係者と駅前街区の再編に向けた検討を進めます。	整備手法の合意形成	完了								
3	重点事業プラン	原町田中央通りの魅力の向上	原町田中央通り(原町田大通りから文学館通りの区間)の沿道空間活用に向けて、作成したガイドラインや運用ルールに基づき、実行委員会(市と地域が共同で運営)による運用を社会実験等を通じて検証し、更新します。 また、社会実験として実施している「まちだウィークエンドストリート」の認知度を高めて、地域の関係者に参画いただくとともに、沿道の賑わいを創出します。	運用体制の検証・更新	完了								
4	個別計画	良好な景観まちづくりの推進	魅力ある景観づくりの実現を図るため、市民、事業者、行政の協働による景観まちづくりの取り組みを推進します。	①景観づくり市民推進員の制度確立・運用 ②事前協議制度等の運用 ③公共事業景観形成指針の運用方法の改善	①完了 ②完了 ③完了								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	事務事業見直し	相原駅周辺街づくりの推進	所管している事業用地について、事業化するまでの期間、貸付を行うことで資産の有効活用を図ります。	資産の貸付	完了								
6	事務事業見直し	予算・組織の集約化	街づくりと景観づくり、屋外広告物について連携強化を目的とした予算・組織の集約化を図ります。	予算・組織の集約化	完了								
7	事務事業見直し	予算（消耗品費）の一元管理	部内各課に共通する消耗品について、費用の縮減と手続の効率化を目指し、予算及び管理を部総務担当課へ集約します。	2025年度予算編成における消耗品費の一元化	完了								

部課名	都市づくり部住宅課
課の使命	誰もが安全・安心に長く暮らせる、豊かで快適な居住環境を確保します。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化推進	耐震改修促進計画に基づき、震災時に緊急輸送道路を閉塞する恐れのある建築物の耐震化を進めるため、未耐震の建物所有者への啓発活動や費用助成を実施します。	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震設計実施棟数	1棟								
2	重点事業プラン	木造住宅・分譲マンションの耐震化促進事業	・耐震相談会において、耐震化の必要性や助成制度などの周知を行います。 ・旧耐震木造住宅に加え、1981年から2000年までの間に建てられた在来軸組木造住宅の耐震化を促進するため、簡易耐震診断の実施に向けて、住宅所有者へ案内状を送る等の啓発活動を実施します。	1981年から2000年までの間に建てられた在来軸組木造住宅の簡易耐震診断の申込件数	90件								
3	重点事業プラン	団地再生に向けた取り組み	①UR都市機構及びJKK東京と連携し、多摩都市モノレール延伸が想定されている団地を中心に団地再生の機運醸成に資するイベントを実施します。 ②「町田市都市づくりのマスタープラン」に掲げる「住宅地を多機能化する」ことを目指して、UR都市機構や東京都住宅供給公社など関係機関との協議を進めるとともに、有識者や地元自治会、管理組合等の代表などで構成する（仮称）まちづくり検討会・ワークショップを実施し、課題の整理とまちづくりの方向性について検討します。	①団地事業者と連携したイベントの実施回数 ②課題整理とまちづくりの方向性の取りまとめの実施	①1回 ②取りまとめ完了								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
4	個別計画	空家に関する取り組み	①空家通報データベースの再整備を行い、過年度分の通報データを新データベースに移行します。 ②管理不全となっている空家を改善するため、所有者に対し、啓発活動や現況に関する情報提供、空家無料相談等を実施します。また、空家の適正管理啓発のための空家セミナーを開催します。	①過年度分通報データの移行件数 ②市の空家無料相談会や協定団体の相談件数	①1,442件 ②80件								
5	－	業務の効率化	旧耐震木造住宅の耐震化助成業務に関連し、個別物件の耐震化進捗把握や、物件が除却された際の検出を容易にするため、データベースの修正を行います。	簡易耐震診断受診歴データのデータベース反映	完了								
6	事務事業見直し	予算（消耗品費）の一元管理	部内各課に共通する消耗品について、費用の縮減と手続の効率化を目指し、予算及び管理を部総務担当課へ集約します。	2025年度予算編成における消耗品費の一元化	完了								
7	事務事業見直し	市営住宅及び都営住宅の募集案内配布業務の見直し	東京都住宅供給公社の管理代行の一部として行っている市営住宅及び都営住宅募集案内の配布業務について、業務見直しを行います。	2025年度予算編成に向けて事業者の見直しの検討	検討完了								

部課名	都市づくり部建築開発審査課
課の使命	市民が安心して暮らせる良好な街づくりを推進するため、建築物の建築等が適法に行われると共に適法な状態が保たれるよう、情報発信、審査、指導、検査等を行っていきます。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	－	災害に備えた準備	①市内の被災建築物応急危険度判定員との連携強化を図るため、連絡訓練を行います。 ②2022年度に作成したタイムラインの中で、民間判定員活動期間（地震発生3日後から6日後まで）に職員が行う作業を精査し具体的な手順書を作成します。	①民間判定員との連絡訓練実施 ②手順書の作成（民間判定員活動期間編）	①実施 ②完了								
2	事務事業見直し	デジタル化に伴うサービスの向上	ホームページ(公開型GIS)で公開・運用している建築基準法における道路種別について、一部公開できていない道路の情報があるため、未公開情報を仕分けします。	未公開情報の仕分け	完了								
3	－	特定建設資材の適切な再資源化の促進	建設リサイクル法の届出があった物件について、適切に施工されているか、パトロール（定期的に現場状況を確認すること）を実施することにより、違法な解体工事を抑止します。	パトロール回数	12回								
4	－	技術力強化のための人材育成	①職員の人材育成・技術習得のため、技術研修会へ積極的に参加します。 ②経験豊富な職員のノウハウを活かした技術勉強会を実施し、知識や技術の継承を図ります。また、技術研修会で学んだことを技術勉強会の中で周知・共有し、業務に活かしていきます。	①技術研修会への参加回数 ②技術勉強会の実施回数	①年7回 ②年12回								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	－	窓口対応の強化	①新規配属された職員が窓口対応において迅速で的確な案内を行えるように、知識・情報を共有する勉強会を実施します。また、勉強会の内容を他の職員にも共有できるよう職場内で周知します。 ②業務分担の平準化を図るために各業務の内容及び進捗状況を係内で共有し、協力し合える体制を作るための業務連絡会を実施します。	①閲覧窓口勉強会の実施回数 ②業務連絡会の実施回数	①10回 ②10回								
6	事務事業見直し	予算（消耗品費）の一元管理	部内各課に共通する消耗品について、費用の縮減と手続の効率化を目指し、予算及び管理を部総務担当課へ集約します。	2025年度予算編成における消耗品費の一元化	完了								

部課名	都市づくり部建築開発審査課建築審査担当
課の使命	・市民が安心して暮らせる良好な街づくりを推進するため、建築物の建築等が適法に行われると共に適法な状態が保たれるよう、情報発信、審査、指導、検査等を行っていきます。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	－	お客様が迅速に適切な情報を得られる環境の整備	市民サービス向上のため、ホームページ上に公開している建築確認申請等に必要な提出書類を整理し検索しやすくします。	建築確認申請等に係る情報の整理及び更新	ホームページ更新								
2	－	職員の人材育成	①職員の人材育成・技術習得のため、技術研修会へ積極的に参加します。 ②経験豊富な職員のノウハウを活かした技術勉強会を実施し、知識や技術の継承を図ります。また、技術研修会で学んだことを技術勉強会の中で周知・共有し、業務に活かしていきます。	①研修会への参加回数 ②勉強会の実施回数	①年12回 ②年12回								

部課名	都市づくり部建築開発審査課開発審査担当
課の使命	市民が安心して暮らせる良好な街づくりを推進するため、開発行為等が適法に行われると共に安全な宅地が保たれるよう、情報発信、審査、指導、検査等を行っていきます。

実行計画(年度目標)

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	－	災害に備えた準備	発災時、迅速に対応できる体制を維持するため、以下の活動を行います。 ①経験の浅い職員が被災宅地危険度判定に対応できる研修を実施します。 ②職員を被災地へ円滑に派遣ができる研修を実施します。	①被災宅地危険度判定の研修実施 ②被災地派遣に備える研修実施	①実施 ②実施								
2	事務事業見直し	窓口配布資料の調査・把握	紙使用量削減に向けて、開発許可要否を判断するために相談カード等の窓口配布資料の配布の必要性や内容の見直しを行います。	配布資料の削減のための調査・把握	完了								
3	－	職員の人材育成	①職員の人材育成・技術習得のため、技術研修会へ積極的に参加します。 ②経験豊富な職員のノウハウを活かした技術勉強会を実施し、知識や技術の継承を図ります。また、技術研修会で学んだことを技術勉強会の中で周知・共有し、業務に活かしていきます。	①研修会への参加回数 ②勉強会の定期実施回数	①年3回 ②年24回								

部課名	都市づくり部公園緑地課
課の使命	○市民及び利用者にとって魅力ある公園・緑地を目指します。 ○安全で安心な憩いの場を継続するためストックマネジメントを推進します。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	重点事業プラン	野津田公園スポーツの森の整備	パークセンターゾーンのうち、引き続き、スケートパークの基本設計を行います。	スケートパークの基本設計完了	完了								
2	重点事業プラン	「芹ヶ谷公園”芸術の杜”プロジェクト パークミュージアム」の実現	エレベーター整備の実施設計、第2期・第3期公園整備(PFI)事業者の選定を行います。	①実施設計の完了 ②公募開始	①完了 ②実施								
3	重点事業プラン	町田薬師池公園四季彩の杜の整備	2023年度に策定した「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画～Ver.2～」に基づき、リス園基本計画の策定を行います。	基本計画の策定完了	完了								
4	重点事業プラン	香山緑地の整備	①既存建物耐震工事を行います。 ②庭園工事を行います。	①耐震工事の完了 ②庭園工事の完了	①完了 ②完了								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
5	重点事業プラン	忠生スポーツ公園の整備	管理・運営の適正化を図るため、都市公園法第17条に定める都市公園台帳（調書及び図面）の作成を行います。	台帳作成業務の完了	完了								
6	重点事業プラン	忠生・北部エリアのまちづくりの推進	官民連携組織「まちだみどり活用ネットワーク」を運営し、忠生・北部エリアのみどりを活用する取組を官民連携で検討し実践します。運営や取組状況をふまえ、官民連携を持続していくための体制等について検討します。	取組の実施	実施								
7	重点事業プラン	小山田蓮田緑地の整備	①整備工事を行います。 ②休憩棟やトイレの建築工事を行います。	①整備工事実施 ②建築工事実施	①実施 ②実施								
8	事務事業見直し	業務の効率化	チャット及びテレワークの活用、工事発注時期の平準化、担当間や係間での応援体制の構築により、業務の効率化と業務特定の人員への業務の集中をなくすことで時間外勤務の縮減を図ります。	時間外勤務の削減割合	2,944時間以下（2023年度見込み比5%減）								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
9	事務事業見直し	未利用地売払いのための不動産鑑定の実施	公園・緑地用地として活用見込みのない未利用地売払いのための不動産鑑定を実施します。	本町田苗圃用地の売払いのための不動産鑑定実施	実施								
10	事務事業見直し	予算(消耗品費)の一元管理	部内各課に共通する消耗品について、費用の縮減と手続の効率化を目指し、予算及び管理を部総務担当課へ集約します。	2025年度予算編成における消耗品費の一元化	完了								

部課名	都市づくり部公園緑地課公園管理担当
課の使命	○市民及び利用者に満足していただける公園・緑地を目指します。 ○公園・緑地の適正な整備・管理を市民・NPO・事業者と共に推進し、安全で安心な憩いの場を提供します。

実行計画（年度目標）

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	－	ホームページや園内看板等でのマナー啓発やイベント情報の発信	各公園のホームページや園内看板に、イベント情報や公園利用に関するルールやマナーの啓発を掲示することで利用者満足度の向上を図ります。	公園利用者満足度	80％以上								
2	－	公園利用者ニーズを踏まえた事業の実施	公園利用者ニーズを踏まえた自主事業を実施し公園利用者の増加を図ります。	公園利用者ニーズを踏まえた自主事業の参加者数	83,000人								
3	－	直営管理公園への民間活力の導入	現在、直営で管理している公園について、指定管理者の公募を行います。（四季彩の杜グループ）	指定管理者の決定	完了								
4	－	業務の効率化（業務のデジタル化）	現在、紙で申請を受けている業務について、業務のデジタル化に向けて関係部署と協議を行います。	協議	完了								